

- コース距離：12.6 km
- 歩行時間：4.5時間

- 1 JR池袋駅
↓0.5km
- 2 池袋水天宮
↓0.2km
- 3 池袋大橋
↓1.6km
- 4 大塚天祖神社
↓0.3km
- 5 東京さくらトラム
(都電荒川線)
↓1.8km
- 6 とげぬき地蔵尊(高岩寺)
↓1.5km
- 7 六義園
↓2.6km
- 8 谷中銀座
↓2.5km
- 9 寛永寺根本中堂
↓1.0km
- 10 寛永寺開山堂
↓0.6km
- 11 JR上野駅

9 寛永寺根本中堂

西の比叡山に対し、東国の天台宗の拠点となる寺院。関東にあるため東叡山寛永寺と名付けられた。寛永2(1625)年、慈眼大師天台大僧正による創建で、その中心となるお堂が元禄11(1698)年建立の根本中堂である。往時には現在の上野公園の大噴水のところに建っていた。幕末の戊辰戦争で焼失したが、現在地に移転再建された。

8 谷中銀座

台東区谷中にある1950年代から続く昔ながらの商店街。約60軒の店舗が軒を連ねている。日暮里駅方面から谷中銀座に下る石段「タヤけだんだん」もここのシンボルのひとつ。「台東区思い出の景観30選」指定の観光名所となっている。



11 JR上野駅

1883(明治16)年に日本鉄道(株)の駅として開業。新幹線開通までは東北、上越地方から東京への玄関口となっていた。現在も多数の在来線や新幹線、地下鉄各路線が乗り入れている。

10 寛永寺開山堂

慈眼大師天台大僧正と天台大僧正が尊崇していた平安時代の僧侶慈恵大師良源大僧正が祀られたお堂。創建は正保元(1644)年に前年に亡くなった天台大僧正を祀る開山堂だったが、後に寛永寺本坊内にあった慈恵堂から慈恵大師像を移し、2人の大師が祀られたことから両大師と呼ばれるようになった。



7 六義園

文京区本駒込にある都立公園。もともとは元禄8(1695)年に5代将軍徳川綱吉の側用人柳沢吉保が綱吉から賜った地に下屋敷を造成した際に作られた庭園だった。御殿を六義館、庭園を六義園と称した。六義園の名は『詩経』の六義にちなむ。江戸初期に完成した桂離宮の庭園の様式を採用した回遊式築山泉水庭園で、元禄時代の代表的な江戸大名庭園となっている。



Walking Course



4 大塚天祖神社

創建は鎌倉時代末期の元亨年間(1321~1324年)とされる。当地の領主であり豊島氏中興の祖と呼ばれた豊島景村により伊勢・皇大神宮が勧請されたのが起源といわれる。以来、旧巣鴨村の総鎮守として崇敬されるようになった。昭和8(1933)年に造営された旧社殿は、昭和20(1945)年4月13日の空襲により焼失したが、戦後の昭和25(1950)年に拝殿が再建された。



6 とげぬき地蔵尊(高岩寺)

「とげぬき地蔵」の名で親しまれているお寺で正式には萬頂山高岩寺という曹洞宗の寺院。慶長元(1596)年に江戸の湯島に開かれ、約60年後下谷屏風坂に移り、巣鴨には明治24(1891)年に移転して来た。本尊は「とげぬき地蔵」として霊驗あらたかな延命地蔵菩薩。この地蔵菩薩様は秘仏なので見ることはできないが、その姿を元に作られた御影(おみかげ)に祈願してもご利益があるとされている。境内に続く参道にある巣鴨地蔵通商店街は「おばあちゃん原宿」とも呼ばれている。

快汗ウォーキングコース

池袋駅から上野駅まで 山手線沿線の見どころを 巡りながら歩く半日コース



1 JR池袋駅

1日平均の乗車人数は乗り入れる私鉄や地下鉄すべての路線を合わせると約130万人。東京駅、新宿駅、渋谷駅と並んで東京を代表するターミナル駅となっている。



2 池袋水天宮

源平合戦の最終地となった壇ノ浦の戦いで自害をした安徳天皇、二位ノ尼と安徳天皇の母建礼門院を祀っている。今では池袋の発展と安全を願う場所となっている。駅の北側に位置する池袋駅前公園の中にあり、繁華街にありながら落ち着いた雰囲気を持つ神社である。



3 池袋大橋

池袋駅の北口を出てまっすぐ歩いたところにある線路をまたぐ橋。昭和38(1963)年に完成したが、それ以前は全長およそ70メートルもある池袋大踏切があった。池袋大橋ができたことで池袋駅の東西の行き来が容易になった。写真は池袋大橋から見た埼京線。

5 東京さくらトラム(都電荒川線)

東京に残る唯一の都電で、三ノ輪橋～早稲田間(12.2km・30停留場)を運行している。沿線には、桜やバラなど花の見どころや歴史・文化に触れられる名所旧跡、昔ながらの商店街など魅力あるスポットが数多くある。



東池袋の子育て地蔵